

平成 28 年 6 月平戸市教育委員会定例会会議録

区 分	
日 時	平成 28 年 6 月 28 日(火) 13 時 20 分開会 16 時 00 分閉会
場 所	平戸市役所 4 階委員会室
出席委員	中島善治委員長、末吉幸徳委員、松本美穂子委員、吉田あつ子委員、小川茂敏教育長
出席者	佐々木教育次長、入口学校教育課長、田中生涯学習課長、野口文化交流課長、宮島教育総務課長

委員名	質疑等
教育次長	<p>(日程第 1 開会)</p> <p>ただいまから、平成 28 年 6 月定例教育委員会を開会します。教育長お願いいたします。</p>
教育長	<p>開会に当たり一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>委員の皆様には、午前中より学校訪問をして頂きありがとうございました。1 月には市内で最も小さな堤小学校の複式学級を見て頂きました。今回は最も大きな平戸小学校を視察して頂きました。同じ小学生であります、その教育環境は大きく異なるものがあります。その違いを実感して頂いたのではないかと思います。</p> <p>子どもたちが、これからの厳しい社会に適応して生き抜くためには、どのような教育環境が必要なのか。我々に課せられた大きな課題であろうと思います。</p> <p>その方向性を示す「学校の適正規模、適正配置」につきましては、4 月にその方針を取りまとめたところですが、いよいよ 7 月中旬から、まずは完全複式であります「堤小学校」と「中津良小学校」の保護者から説明会に入ることにしました。後ほど具体的な進め方につきましては、ご説明させて頂きたいと思っております。</p> <p>また、6 月定例市議会が、去る 6 月 6 日に開会し、同 22 日に閉会しました。</p> <p>今回は、一般質問に立たれた 8 名のうち、4 名の方が教育委員会関連の質問をされました。山村留学制度の導入、民間登用の公民館長の問題、小中学校の統廃合、子育て支援策など、多くの質問がなされたわけですが、私としては、教育行政のあり方についての質問が寄せられることは、大変ありがたいものだと思っておりますし、幾分教育行政についての理解も、関心も深まったのではないかと考えております。</p>

教育長	<p>また一方では、この議場が不祥事追求の場とならないように、学校現場も含めて、気を引き締めて日々を過ごさねばと、認識を新たにしたところです。それでは、議事日程により会議を始めさせていただきます。</p>
教育長	<p>(日程第2 会議録署名委員の指名について) 日程第2 会議録署名委員の指名についてであります。6月会議録署名委員は、末吉委員と吉田委員を指名させていただきます。よろしくお願い致します。</p>
教育長	<p>(日程第3 会議録の承認について) 日程第3 会議録の承認であります。5月定例教育委員会の会議録は、事前に送付しておりましたので、ご確認頂いていると思います。内容について何かございますか。 異議がないようですので、会議録はご承認とすることよろしいでしょうか。</p>
両委員	はい。
教育長	ありがとうございます。会議録は承認されました。
教育長	<p>(日程第4 教育長報告について) 続いて、日程第4 教育長報告をさせていただきます。 1ページをお開き願います。主なものを報告します。 5月24日は、皆さんと共に大村市で行われました県市町教育委員会連絡協議会総会に出席しました。 26日、市町教育長会が佐世保市の教育センターで開催されました。 6月1日は、市生活指導連絡協議会総会が未来創造館で開催されました。 6月11日は、第25回わんぱく相撲北松浦大会が市営相撲場で開催されました。これは全国青年会議所が主催するわんぱく相撲で、平戸、松浦、北松浦地区の全国大会の予選を兼ねた大会で、30数名の小学生が出場していましたが、すべて平戸の子どもたちでありました。 12日は、第11回少年の主張大会が市内すべての小中学校から出場し実施されました。今回は大ホールでの開催とすることで、来場者数が心配されたところですが、約600名の方々にご来場して頂き、子どもたちのすばらしい発表を聞いて頂きました。また、発表者も大きな舞台での発表でありましたので、意義深いものがあったと思います。 20は、世界遺産登録を推進する平戸市民の会に出席しました。 26日は、県少年センター補導委員連絡協議会が文化センターで行われました。県会各地より約150名の参加でありました。 中体連でございますが、5月28日、29日の球技、武道を皮切りに6月</p>

教育長	<p>8日に相撲競、15日に陸上、19日に水泳競技が行われました。その開会式や応援する姿に、子どもたちの現状が現れるものだと思いますが、陸上競技での入場行進はいずれの学校も立派であり、競技に取り組む姿勢も真面目でありました。また、応援者にあっても規律が守られ、雰囲気乱す者は見られず、各学校共に非常に安定した状況にあるものと感じたところです。</p> <p>また、7月23日（土）から25日（月）県下各地で県大会が開催されますので、応援頂ければ幸いです。また、8月5日（金）には亀岡の市営相撲場で九州大会相撲競技が開催されます。長崎県代表として既に生月中学校の出場が決まっておりますので、是非お繰り合わせのうえ応援頂ければと思います。</p> <p>今後の予定ですが、29日には平戸市総合防災訓練が河内港で行われます。</p> <p>7月1日、校長研修会及び市戦没者追悼式、更生保護女性会総会があります。7日は、ねんりんピック100日前イベントが未来創造館で開催されます。7月13日は、鄭成功誕生前夜祭、翌14日は同じく誕生祭が行われます。</p> <p>以上報告を終わります。何かお尋ねでもございますか。</p> <p>委員の皆さんの出席された感想でもあればと思いますが如何ですか。</p> <p>(ありません。の声あり)</p>
教育長	<p>それでは、次に移ります。</p>
教育長	<p>(日程第5 報告)</p> <p>日程第5報告に移ります。それでは、第10号報告 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について、事務局の説明を求めます。</p>
教育総務課長	<p>それでは、第10号報告「平成27年度平戸市一般会計補正予算(第8号)」につきまして、資料を基に説明させていただきます。続いて、社会教育費関係は、生涯学習課長から説明をいたします。</p> <p>以下、省略。</p>
生涯学習課長	<p>それでは、第10号報告「平成27年度平戸市一般会計補正予算(第8号)」につきまして、生涯学習課関係分を資料を基に説明させていただきます</p> <p>以下、省略。</p>
教育長	<p>説明が終わりました。委員の皆さんから質問はございませんか。</p>
委員	<p>スクーラーボートの運航実績が少なかったということでの減額補正ですが、どういうことでしょうか。</p>

教育総務課長	野子の高島の児童生徒の通学に対するスクールボートの運航実績であります。子どもの登下校時の2回とその他に予約で運航する臨時便の1回、1日3往復運航(3往復×242日)で予算を計上しておりますが、この予約による臨時便の運航が少なかったということでの減額補正となっております。
委員	「屋内運動場非構造部材耐震化事業」でローリング足場により、減額補正ということではありますが、どういうことでしょうか。
教育総務課長	「屋内運動場非構造部材耐震化事業」、体育館天井工事のことではありますが、これまでの天井の部材は重くて、一旦、落ちてくると怪我をするということから、軽いものに変更する工事内容となっております。この工事を行なう際、本市では、事例がなく先進地の例にならって全面足場で予算を組んでいましたが、移動式の足場で対応が可能なが判明し、移動式の足場で行ったことから減額補正となっております。
教育長	他にないでしょうか。 (ありません。の声あり。)
教育長	それでは、次に、第11号報告 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について、事務局の説明を求めます。
生涯学習課長	第11号報告 「平戸市公民館条例の一部を改正する条例」及び「平戸市開発総合センター条例の一部を改正する条例」につきまして、資料を基に説明させていただきます。 以下、省略。
教育次長	補足説明いたします。大島村公民館の工期は8月末日となっておりますが、新しい公民館への移動がはっきりしていませんので、移動するまでの間は旧離島開発総合センターを使用することとしております。使用料についても施設に応じた金額となっております。
教育長	大島支所と公民館と一緒に施設となっておりますが、落成式などの日程は決まっているのですか。
生涯学習課長	9月11日の日曜日と伺っております。
教育長	どういう方に案内するか決まってないんですか。

生涯学習課長	1階が支所、2階が公民館ということで現在調整を行っているところです。
教育次長	私が6月始めに確認をしたところですが、建物はまだ出来ていませんでしたが、支所と公民館の方で協議をしながら、未来創造館の落成名簿を基準にしながら、調整を行っているということです。
委員	周りの照明はどのようになっているのか分かりますか。
教育次長	確認も含めて意見が出たことを伝え対応していきたいと思います。
委員	今度の公民館はステージがないわけですが、移動式の低くて良いのでそういったものがあれば設置をお願いしたいと思います。
生涯学習課長	把握していませんので、申し訳ありません。大島村公民館と協議していきたいと思います。
委員	それから、倉庫が狭いということを聞いているのですが。
教育総務課長	前任者としてですが、確かに旧建物からすると狭くなっております。その代替として、取り壊す予定の教職員住宅を倉庫として使用するよう、準備を進めています。
教育長	<p>(日程第6 その他)</p> <p>次に、日程第6 その他の報告に移ります。</p> <p>(1) 共催・後援等について、今月は協賛1件、後援6件となっておりますが、説明をお願いします。</p> <p>以下、省略。</p>
教育長	各委員から質疑等はありませんか。
委員	全国小学校ラジオ体操コンクールについてですが、ラジオ体操は、先生と生徒に教えに来るということでしょうか。
学校教育課長	はいそうです。昨年と同様に今年もラジオ体操コンクールの関係で来るということになります。
委員	夏休みのラジオ体操は、去年は、誘われたような記憶がありますが、全部の学校で取り組んでいるんですか。

学校教育課	<p>学校というより、主は地区の子ども会でやっており、そのお世話を学校がしているということです。ほとんどのところでやっていると思いますが、実施期間は、地区により多少違いがあると思います。</p>
教育長	<p>他にありませんか。</p> <p>(ありません。の声あり。)</p>
教育長	<p>それでは、承認することよろしいでしょうか。</p>
一同	<p>異議なし。</p>
教育長	<p>それでは、共催・後援等について、承認することといたします。</p> <p>次に、(2) 各課長報告ですが、教育総務課の方から順番に説明をお願いします。</p>
教育長	<p>それでは、(2)各課長報告についてお願いします。</p>
教育総務課長	<p>教育総務課から、これまでの実績と今後の予定について報告させていただきます。</p> <p>5月24日、平成28年度長崎縣市町教育委員会連絡協議会及び総会及び縣市町教育委員会合同研修会が大村市で開催され、教育長他5名の委員さんが出席いたしました。</p> <p>同日と25日の両日、各小中学校要望に対する現地確認を北・中・南部地区及び生月・田平地区の各学校の確認を実施しました。</p> <p>26日、「第2回ねんりんピック実行委員会」総会が社会福祉協議会であり次長が出席をいたしました。</p> <p>27日、職員の人事評価適正会議が未来創造館でありました。管理職については、今年度から勤勉手当に反映されることとなります。</p> <p>6月1日は、定例部長会、6日は、市議会定例会が開会となりました。7日は、生月中学校屋内運動場電気設備工事指名委員会がありました。</p> <p>10日と13日は一般質問が行われました。</p> <p>14日は、議案質疑。17日は、文教委員会がありました。20日、生徒と市長とのふれあい給食が田平中学校で行われました。</p> <p>27日は、各小中学校要望に対する現地確認を大島・度島地区を行い全ての学校の確認を終えることが出来ました。修繕等について優先順位をつけて、予算の範囲内で対応していくこととしております。</p> <p>そして、本日の平戸小学校訪問と定例教育委員会でございます。</p> <p>今後の予定ですが、29日は、平戸市防災訓練。7月1日は、定例部長会。4日、野子中学校の生徒と市長とのふれあい給食が予定されています。</p>

教育総務課長	21日と22日は、長崎県都市教育長協議会(第2回)が佐世保市で開催予定となっております。
教育長	続けてお願いいたします。
学校教育課長	<p>学校教育課ですが、</p> <p>5月24日、県市町教育委員会連絡協議会総会・合同研修会が大村市で開催されました。</p> <p>また同日、平戸市生活指導連絡協議会と市学校保健会理事会・県学校保健研究大会実行委員会が平戸市未来創造館で行われました。</p> <p>25日、初任者研修(地区別研修)が平戸市未来創造館で行われました。26日は、佐世保市総合教育センターで市町教育長会が開催されました。</p> <p>27日、臨時的任用教職員研修会を平戸市未来創造館で行いました。</p> <p>28日、29日は、平戸市中学校総合体育大会(球技・武道)を各会場で実施いたしました。</p> <p>6月1日、平戸市生活指導連絡協議会総会を平戸市未来創造館で行いました。</p> <p>3日、平戸市校長研修会を田平町民センターで行いました。</p> <p>4日、キッズレンジャーinほたる合宿を上中津良公会堂で行いました。</p> <p>7日、平戸市学校保健会総会・講演会をたびら活性化施設で行いました。</p> <p>8日、中学校総合体育大会(相撲競技)を中野中学校で、同日、学校・図書館担当者連絡会議を田平町民センターで行いました。</p> <p>10日、小・中学校教務主任研修会と臨時的任用教職員研修会を平戸市未来創造館で行いました。</p> <p>13日、平戸市教頭研修会を社会福祉センターで行いました。</p> <p>15日、中学校総合体育大会(陸上競技)をライフカントリーで行いました。この大会で3個の新記録が出ました。</p> <p>17日、「わたしたちの平戸市」第1回制作委員会を平戸市未来創造館で行いました。</p> <p>20日、中学校デジタル教科書(理科)操作研修会を平戸市未来創造館で行いました。</p> <p>22日、初任者研修(地区別研修)を平戸市未来創造館で行いました。</p> <p>24日、特別支援教育コーディネーター連絡協議会・研修会を本庁3階会議室で行いました。同日、臨時的任用教職員研修会を平戸市未来創造館で行いました。</p> <p>27日、中学校デジタル教科書(社会)操作研修会を平戸市未来創造館で行いました。</p> <p>それから、5月から6月に市内の全保育所訪問をしております。6月から7月「長崎っ子の心を見つめる教育週間」に伴い、全小・中学校を訪問することとしています。</p>

<p>学校教育 課長</p>	<p>今後の予定であります、 明日、新任校長校訪問を中津良小、志々伎小を予定しています。 7月1日、平戸市校長研修会を田平町民センターで、平戸市教育委員会教育講演会(特別支援教育)をたびら活性化施設で予定いたしております。 4日、田平南小、田平中の定例学校訪問を予定しております。また、ラジオ体操講習会が紐差小学校で予定されております。 5日、平戸小、大島中の定例学校訪問の予定です。11日、平戸市教頭研修会、12日、平戸市生徒指導推進協議会、15日、「わたしたちの平戸市」第2回制作委員会、そして、20日は、第1学期終業式となっております。 21日から8月31日まで子どもたちが夏休みに入ります。また、21日と22日は、イングリッシュ・キャンプ(小学生)を平戸未来創造館・海上ホテル等で行う予定です。 22日、平戸市へき地・小規模校教育研究連盟研修会がふれあいセンターで予定されています。 23日から25日まで、長崎県中学校総合体育大会が県内各所で行われます。 26日、初任者研修地区研修会、30日は、平成29年度管理職試験(学校関係)が長崎県教育センターで予定されています。 27ページから32ページまでは、市内中総体の結果を掲載しております。陸上競技で、2年男子の立石佑弥君が100メートル、女子の住福美巳子さんが共通200メートル、女子4×100メートルで田平チームが大会新記録を出しております。 相撲については、生月中学校が団体戦で勝ちまして、地元として九州大会に出る予定です。部としては中野中学校に1名在籍をしているという状況となっております。</p>
<p>教育長</p>	<p>続けてお願いします。</p>
<p>生涯学習 課長</p>	<p>5月24日、生涯学習課内職員会議(公民館、図書館含む)を市役所で行いました。 25日、県公民館連絡協議会理事会が長崎市行われました。 26日、第1回ひらどふれあい福祉事業推進委員会が市役所で、平戸市少年補導委員連絡協議会総会がふれあいセンターで行われました。 27日、第53回県P平戸大会第6回実行委員会が未来創造館開催されました。 28日、ひらどツデーウォーク大会宣伝を早岐駅・小城駅で行いました。 30日、社会教育委員会を未来創造館で開催いたしました。 31日、市町人権・同和行政担当課長及び市町教育委員会人権教育担当課長合同会議が長崎市で開催されました。 6月1日、北九州ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会総会が五</p>

生涯学習課長	<p>島市で、また同日、平戸市生活指導連絡協議会総会が未来創造館で行われました。</p> <p>2日、V・ファーレン自治体連絡協議会が長崎市で開催されました。</p> <p>5日、ひらどツーデーウォーク大会宣伝を竹松駅で行いました。</p> <p>9日、第53回県P平戸大会第7回実行委員会が未来創造館で開催されました。</p> <p>11日、第25回わんぱく相撲北松浦大会が市営相撲場で開催されました。</p> <p>12日、「第11回少年の主張」を文化センターで行い、当初参加者を800人予定しておりましたが600人ほどの参加でありました。結果につきましては、別紙に添付をいたしております。</p> <p>中学校の最優秀賞の石田悠華さんは、少年の主張長崎県大会へ、特別賞の橋村優花さんは、社会を明るくする運動中学生・高校生長崎県弁論大会へ出場いたします。</p> <p>18日、ひらどツーデーウォーク大会宣伝を相知駅で行いました。</p> <p>20日、平戸市生活指導連絡協議会第1回運営委員会が未来創造館で開催されました。</p> <p>23日、立入調査ブロック研修会（平戸・松浦地区）が未来創造館、また同日スポーツ推進委員会総会が市役所で行われました。</p> <p>26日、長崎県少年センター補導委員連絡協議会総会・研修会が文化センターで行われました。</p> <p>本日は、第34回人権教育講演会・総会が田平町民センターで開催されています。</p> <p>今後の主な予定ではありますが</p> <p>明日は、平戸市公民館連絡協議会と青少年健全育成会研修が未来創造館で予定されています。</p> <p>30日、生涯学習課内職員会議（公民館、図書館含む）が市役所で、7月1日は、青少年教育主管課長会が長崎市で、平戸更生保護女性会がふれあいセンターで開催予定です。</p> <p>5日、指定管理者選定委員会が市役所で</p> <p>7日、九州マーチングリーグ定期理事会（総会）が八代市で、長崎県社会教育研究大会が長崎市で予定されています。</p> <p>8日、長崎県社会教育研究大会が長崎市で、11日、少年スポーツ指導者研修会が田平活性化センターと第53回県P平戸大会第7回実行委員会が未来創造館で予定されています。</p> <p>12日、第1回紐差小学校区通学合宿実行委員会がふれあいセンターで、19日は、ねんりんピック実行委員会が市役所で予定されております。</p> <p>生涯学習課からは以上です。</p>
教育長	<p>各課からの報告がありましたが、委員さんからご質問はないでしょうか。</p>

<p>教育長 委員</p>	<p>平戸更正保護女性会はどんな会でしょうか。</p>
<p>生涯学習 課長</p>	<p>具体的には、犯罪や非行をした人が同じ過ちを繰り返さないよう更正保護ボランティアで活動を行っています。例えば刑務所や少年院などの施設を慰問し、施設で作ったものの販売の手助けや施設での発表を聴いたり、要らなくなった服などを使ってくださいなど、更正を手助けするようなことをやっております。</p>
<p>教育長 両委員</p>	<p>そういうことでよろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、(3)教育次長の報告をお願いします。</p>
<p>教育次長</p>	<p>6月定例市議会で、6月10日、13日に今回は8名の一般質問があり、内4名が、教育委員会に関連するものでした。</p> <p>山崎議員からは、子どもの貧困率などをふまえて、貧困対策などについて、その取り組み内容についての質問で、主に福祉関係のことについての内容でしたが、教育委員会としては、具体的な取り組みとして、学用品費、給食費等の要保護・準要保護就学援助を行っているところと答弁したところです。</p> <p>山田議員からは、婦人会のあり方についてと公民館のあり方についての質問がありました。婦人会のあり方については、その重要性と補助金についての質問で、婦人会の重要性については、地域になくしてはならない存在であること。補助金については、市町村合併前からの仕組みを継続し支援していること。また、婦人会が停滞している原因として、会員の高齢化や役員のなり手がいないことなどが原因として考えられること。今後、地域コミュニティも含めて、活性化を考えていく必要があるのではないかと答弁したところです。</p> <p>また、公民館長の民間登用について、準備は十分だったのか。との質問では、当初、市長事務局から非常勤職員との提案がありましたが、土日や時間外の業務が多くあり、教育委員会として常勤の職員が必要とのことで、期限付きの職員が必要であるとの協議により決定したこと。</p> <p>公民館の決裁権限と指揮命令の位置付けについての質問には、公民館長の身分は、一般職員の任期付職員として2年間となり、財務に係る権限については、北中南部公民館は、従来と変わらずまた、公民館長の権限についても変わっていないことを答弁いたしました。</p>

教育次長

将来、公民館長が非常勤職員という話があるが、との質問に対し、2年間は常勤職員として採用されており、その間、現状を見極めつつどういう体制でよいのか。他市の状況も踏まえ、検討していきたいと回答しております。

川上議員からは、都市農山村交流・滞留・定住の促進や青少年教育の見地からも山村留学制度の導入を図っていただきたい。また、セカンドスクールの取り組みについての質問がありました。

まず、山村留学制度の導入についてですが、体験活動を行いながら他人と共同生活することにより自立的な青少年を育てようとする山村留学は、大いに共感すること。産業の振興、定住・移住の促進にも繋がること。猶興館高等学校大島分校、五島市久賀島の先進事例では、里親の確保が大きな課題となっていること。山村留学に期待する役割は、少子化対策より教育的効果の方が大きいと考えられること。

しかし、この制度は、様々な要素が複雑に絡み合った課題であり、一朝一夕に解決しないこと。義務教育において、少子化対策、学校の維持としての長期的な山村留学については、今後、研究し、検討する余地があるのではないかと考えていると回答しております。

また、セカンドスクールの取り組みについての質問に対し、セカンドスクールは都会の小中学生がクラス全員で農村部に移動し、豊かな自然の中の体験学習を行い、人間関係や生活力の向上、職業観の育成を図ることを目的としていること。小学校は県立世知原少年自然の家、中学校は県立佐世保青少年の天地を利用し、宿泊学習を行っていること。

生涯学習の面から、子どもたちがもらい湯し、地域の方にお世話いただき共同生活を行う通学合宿を行っていること。セカンドスクールは、教育的効果も大きく、地域の活性化にもつながり経済効果も期待できることから、セカンドスクールの導入について、どのような課題があるかを含め検討したいと回答しております。

松瀬議員からは、民間の公民館長を登用して、どのような指導をして何をさせようとしているのか。の質問に対し、今回の組織体制見直しにより各公民館を生涯学習課の管理下の下に指揮命令統一の一本化を図り、各公民館と意見交換の場を新たに設け、4月1日に各公民館長を集めて公民館の役割、行事予定や決裁方法などの説明を行ったこと。また、5月24日には公民館長を含む生涯学習課全職員の会議を行い、事業の周知方法や事務改善などについての協議を行ったこと。今後も職員会議等を重ね、地域に精通した民間からの登用のメリットを活かした公民館づくりに努めてまいりたいと回答しております。

また、学校給食費の負担軽減策として補助金の支援は出来ないかとの質問に対し、相当額の財源を必要とすることから、まず、準要保護による援

教育次長

助と併せ、慎重に取り組んでいくと回答しております。

松尾議員からの質問は、特別支援児童生徒の通学支援について、小中学校の学力の現状と課題、その取り組みについての質問がありました。特別支援児童生徒の通学支援に対し、市内には、佐世保特別支援学校の高等部はあるが、小学部・中学部がないことから、長崎県・長崎県教育委員会へその設置に向けての要望を行うと回答。小中学校の学力の現状と課題、その取り組みについての質問に対しては、昨年度の全国学力・学習状況調査の結果は小学校、中学校とも全国平均を下回ったが、その結果を受け学力向上プランを作成し、全校挙げて授業改善に取り組んでいるところであると回答しております。

また、学校統合問題に対する基本的な考え方と今後の取り組みの質問に対し、学校教育では、社会性を培い個性を伸ばす中で同学年の子どもとの集団の中で様々な経験をすることが大切であること。今回の学校の適正規模・適正配置の目的は合理化ではないこと。何よりも子どもにとって望ましい環境をつくること。しかし、地域にとっては大事であることなどから、保護者、地域の声を十分に考慮して慎重に進め、1学期末頃から説明会を進めていきたいと回答しております。

また、ふるさと納税を活用した返済を必要としない給付型の奨学金制度についての質問では、給付型奨学金制度ではないが、平戸市奨学資金貸付基金条例の中に、産業後継者（農業、水産業、建設業及び商工業）を対象とした制度があり、内容は、高校生が対象となり、高校卒業と同時に市内で農業、水産業、建設業及び商工業の定職に就く方は、これまで借りた奨学資金の5年間の返還猶予の申請をいただき、卒業時点の職を5年間継続していれば、これまで借りた奨学資金の返還を全て免除するという制度となっており、併せて、産業後継者の確保・育成及び定住促進を図ることを目的とした制度ともなっていること。ふるさと納税を活用した返済を必要としない給付型奨学金制度については、現在、ふるさと納税は多くの方にご協力をいただいているところですが、給付型の制度は、性質上恒久的な制度となり将来にわたり財源の確保が必要となることから、給付型奨学資金に対しましては、慎重に取り組まなければならない課題と捉えていると回答しております。

以上で報告とさせていただきます。

何かご質問はないでしょうか。

教育長

分室から公民館となりましたが、何か問題点などありませんか。例え

委員	ば、何事も自分たちで決められないとかですね。
生涯学習課長	事務的なことは、特になんかと思っています。
委員	生涯学習課長さんの指揮の下で運営していくのですか。
生涯学習課長	北部、中部、南部については、今までとなんら変わっておりません。ただ、分室が公民館となったことで、田平、生月、大島の公民館では決裁は生涯学習課長まで受けることとなっています。
委員	今の件について、出来れば1年くらいたってから、それぞれの公民館長に集まってもらい反省というか総括というか検証の場を持った方がいいんじゃないでしょうかね。
生涯学習課長	現在も、各公民館長、職員に毎月集まってもらい、協議を進めているところです。今のところまずまずの滑り出しだと思っております。
委員	館長は、2年経過したら常勤から非常勤となる可能性はないのでしょうか。
生涯学習課長	今のところはっきりとしたことは分からないですね。
委員	田平、生月、大島もそうだと思いますが、地域のイベントなど公民館の協力があってこそやれてこれたと思うんですね。これが、非常勤となると地域とのかかわりが薄らぐと思いますが、そのところはどうでしょうか。
教育長	市長からの最初の提案は、非常勤(週 29 時間)だったんですが、いきなり週 29 時間は厳しいだろうということで、職員の勤務時間と合わせてスタートしたところなんですね。今後の2年間で非常勤の館長で運営していくためにはどうしたらいいのか、考えざるを得ないものと感じがしております。
委員	週 29 時間勤務となりますと、勤務しない日が出るとイベントなどのときに責任者がいないということになるんじゃないでしょうか。
教育長	館長がいないということではなく、どういう体制で行っていくのかということになると思いますね。

教育長 委員	<p>平戸の場合は、以前の体制とあまり変わってないので問題ないと思いますが、このことは地域振興課とか教育委員会関係とかのすみ分けが出来ていないので、地域住民が戸惑っている面も伺えるので、すみ分けも必要ではないのかと考えますが。</p>
教育次長	<p>確かに、平戸の北中南部については、以前は出張所長と館長が窓口も兼務をしておった関係から、多少住民の中には戸惑いが感じられているようなところがありますね。</p>
教育長	<p>他にご意見は、ございませんか。</p>
委員	<p>一般質問で山村留学の件が出ていましたが、例えば、期間は1年か2年間とかまたは短期とかになるんですか。また、議員の思いはどういうことでの質問だったのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>都会の子どもが地域のよさを味わうということで、里親や施設で共同生活を行うというパターンで考えられ、期間は年度単位ということになります。議員の思いとしては、都会と田舎の交流によって経済的効果、また過疎地に行くということで、地域で失われていく文化というものが、その子ども達に受け継がれていくというメリットもありますから、是非、取り組んでほしいということでありました。</p>
委員	<p>以前大島では、学校の存続を目的とした離島留学制度を受け入れたことがありました。その当時は、里親ではなくホストファミリーとっていましたが、中々、受け入れ家庭が見つからず大変苦勞をした思いがあります。</p>
教育長	<p>教育委員会としては、地元の受け入れ態勢が整いさえすれば、お手伝いしますというんですが、議員さんの思いとしては、行政主導で是非行ってもらいたいとの思いがあるようでした。</p>
教育長	<p>他にご意見は、ないでしょうか。</p> <p>(ありません。の声あり。)</p>
教育長	<p>それでは、次に、(4)その他で文化交流課長の方から世界遺産登録の経過について、説明をお願いします。</p>
文化交流	<p>世界遺産登録の経過については、皆様も既にご存知かと思いますが、田平天主堂が世界遺産の構成資産から外れるという結果となりました。</p>

課長	<p>経過といたしましては、昨年の9月にイコモスが現地調査に参りました。今年からはじめてイコモスの中間報告が実施されましたが、結果は非常に厳しい内容でして、長崎の教会群とキリスト関連遺産の推薦内容の見直しということになりました。中身はキリスト教の伝播と繁栄、禁教と弾圧、復活の3つの流れの中でストーリーを組んでその価値を証明しようと考えていましたが、イコモスからは、禁教期に特化した形での見直すよう指摘がありました。登録推進体制としては、各首長で構成する推進会議が一番上にありますが、これまで10年近く登録を目指して取り組んでまいりましたが、登録が遅れることは避けたい考えから、最短かつ確実な登録を目指していくという方針が決定され、文化庁は国内推薦を取下げ、イコモスから助言を受けながら推薦内容を再構築する作業に着手したところです。</p> <p>その後、イコモスから具体的な指導を受けながら、現地調査等を実施してまいりましたが、南島原市の日野江城と田平天主堂は禁教期の資産とは言いがたいということで、14の構成資産から12の資産に減らすよう指導がなされ、苦渋の決断ではありますが確実な登録を目指しイコモスの指導を受け入れ構成資産を14から12に減らす決定がなされたところです。</p> <p>市といたしましては、田平天主堂が禁教期に焦点をあてた世界遺産の構成資産からは除外されたとしても、歴史やその価値は変わらないことから、これまで同様、保全、活用を継続していくこととしております。</p> <p>平戸市はザビエルによる布教開始から、禁教・弾圧、復活にいたるストーリーをすべて証明できることから、関連遺産を包括し巡回する独自の文化観光戦略の見直しを現在行っております。</p> <p>今後のスケジュールは、7月末に国の文化審議会において国内推薦が決定される予定であり、教会群を含め4つの候補がノミネートしています。県・構成市町と連携し国内推薦を勝ち取る為、陳情活動はもちろん推薦書内容のブラッシュアップを今懸命に行っているところです。</p>
教育長	<p>非常に残念ではありますが、まずは、世界遺産登録になるということが絶対必要な条件かなあとと思います。集落の禁教期といえ、西海岸は全体的ですし、生月も本来ならばこれらの資産の議論に乗るべきだと思いますが、最初教会群で進めてきた経緯があるものですから、残念なことに舞台になれませんでした。</p>
教育長	<p>世界遺産の経過については、よろしいでしょうか。</p>
両委員	<p>はい。</p> <p>続きまして、学校の統廃合につきまして、説明をお願いします。</p>

<p>教育長 学校教育 課長</p>	<p>学校の統廃合につきましては、7月の上旬から動き出そうと思っております。予定として、同級生が4名以下の学校である堤小学校を7が5日、中津良小学校を7月6日に学校を訪問して、児童の保護者及びそれぞれの地区の保育所の保護者に向けての説明を行うように予定しております。次の段階としては、本年度の末までに、同級生が8名以下の学校(根獅子小、野子小、志々伎小)に対し、同じような形で説明会を行うように予定しております。29年の1学期までに、同級生が12名以下の学校(中野小、田平南小)に、12月までに大島小中学校に説明に参りたいと考えております。最後に、29年度になるのか30年度になるのか分かりませんが、31年度以降複式が始まる山田小学校にも説明に行く予定をしております。</p> <p>説明の流れとして、</p> <p>28年7月に、堤小学校と中津良小学校の児童の保護者及び保育所の保護者に対して説明。28年9月に、保護者代表、保育所代表、地区自治会代表及び校長教頭に説明を予定しております。</p> <p>説明の基本方針として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子どもの教育環境を整えることを第1としていることを理解していただく。 ② 保護者の意見、地域の声をお聞きして進めることを理解していただく。 ③ 期限を切って急ぐことは考えていないことを理解していただく。 <p>また、統廃合のメリット、デメリットなどを十分説明し、保護者、地域の方にも考えていただきたいと思っております。これは行政の都合ではなくて、子どもたちの育ちの問題として考えていただきたいということをお話ししていきたいと考えております。</p>
<p>教育長</p>	<p>何かございませんでしょうか、平戸小学校の視察をして松本委員さんがおっしゃられた、小さくてもいいんじゃないか。</p>
<p>委員</p>	<p>何を基準に小さいというのか、例えば、団体のスポーツが出来るか、出来ないかということもありますよね。サッカーが出来ないとか。バレーボールが出来ないとかですね。</p>
<p>教育長</p>	<p>現実的には、それをとおりこしている状況なんです。</p> <p>平戸市全体でサッカーチームも4チームか5チームしかない。各学校に存続しているのかということも存続していない。そういう状況にあって、今日、平戸小学校を訪問し、いろんな子どもがいることを実感したわけです。小さい学校ではたぶん、子どもの順番が固定している状況も見受けられます。この状況が果たして教育環境としてよいのかということも考えておりま</p>

教育長	す。
委員	<p>保護者というか地域の人に言わせると小さい学校では、役が回ってくるということで、いろいろ経験ができるけれども、大きい学校では、経験のある方のみが役につくので、そういったところは寂しくなるなあという意見もあるようですね。堤の一部の方は、統廃合はしたくないねえという意見もあるようですね。</p>
委員	<p>小規模校については、メリット、デメリットは当然でてくるところはあると思いますね。</p>
委員	<p>堤小学校児童数は少ないんでしょう。運動会も午前中で終わるようなことをお聞きしているんですが、学校の統廃合は、親の考えで決まるので子どもがかわいそうだなあと思いますね。</p>
学校教育課長	<p>堤小学校児童数ですが、現在は、18名ですけれども34年には12名になりますので、6学年で割ったら同級生2名になりますね。そうした中で学習するのが、本当に子供にとりよい学習環境といえるのかどうか。</p>
委員	<p>大島のほうですが、児童生徒数の減少から今年までは小学校、中学校合同の運動会を実施しておりましたが、来年から大島村の体育祭と合同で行うことが決まっています。</p>
学校教育課長	<p>大島の話が出ましたが、平成34年度には小学校中学校合わせて40名の予定となっています。ですから、小学校、中学校別々に大きな行事を行うのは難しい状況になってきていますので、併設も考えなければならないと思っています。</p>
教育長	<p>小規模校にあっては保護者とか子どもにとっては、それが日常ですからね。そのままで本当に良いのかどうかは、親の責任とか委員会の責任が問われるところだと思うんですね。一応そういうことで学校の統廃合を進めさせていただくということが1つと。そうは言っても離島などの学校は統廃合は無理なんですね。生月にしても平戸の学校との統合とはならないでしょうから生月全体としてどういうふうにするのか。いろいろな考え方があると思うんですね。小中学校が一環校としての考え方もあるでしょうし。</p> <p>今は、いろいろな制度が国の方針の中にもあるようです。ただ、田平にせよ、生月にせよ、将来を見越して1校にするのであれば、少なくとも5年とか10年とかのスパンで施設の整備も含めて物事を考えていかないといけない訳でありますので、今の時点で議論のスタートを切らしていただくのは適当な時期だろうと思います。</p>

教育長	学校の統廃合については、このような形で進めさせてもらってよろしい
教育長	ですか。
一同	異議なし。
教育長	その他にご意見などございませんか。
	(ありません。の声あり)
教育長	それでは、来月の教育委員会の日程について、事務局の予定をお願いします。
教育次長	<p>今回の定例教育委員会は、7月28日、木曜日の午後13時10分から行いたいと考えております。</p> <p>そして、年間計画で行うようにしておりました総合教育会議を委員会終了後の15時から予定しております。内容は、学校適正規模、適正配置の状況、民間登用の公民館長の公民館運営、事業の進捗等についての協議を予定しておるところです。</p>
教育長	次回、定例教育委員会は、7月28日、木曜日の午後13時10分からということでしょうか。
一同	異議なし。
教育長	それでは、以上をもちまして、6月定例会を終了します。皆様お疲れ様でした。
	後 16 時 00 分閉会
教育長	平成 28 年 6 月 28 日
	<p style="text-align: center;">会議録署名人</p> <p style="text-align: center;">署名人 委員 _____</p> <p style="text-align: center;">署名人 委員 _____</p> <p style="text-align: center;">会議録調製職員</p>

--	--

--	--